

私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合
No.21 2018年11月22日(木)

青森：9月末学費滞納調査結果をマスコミ発表 3紙で報道

青森私教連は、全国で取り組まれている「2018年9月末 学費滞納・経済的理由による退学調査」の青森での集約結果を、昨21日に記者発表しました。前年同期比で改善した結果が大きく取り上げられています。

上半期の県内私立高学費滞納率 前年同期比0.83ポイント改善

県私立学校教職員組合連合（中央執行委員長・小野寺仁聖愛中学校教務主任）は21日、今年度上半期（4～9月）の私立中高生の学費滞納と経済的理由による中退に関する調査の結果を発表した。3カ月以上の学費滞納率は高校では1・67%となり前年同期と比べて0・83ポイント改善した。

調査は、私学の学費負担が生徒の学校生活に与える影響を把握し、生徒の学習権を守

ろと、4月から9月までの上半期と、4月から年度末までの期間を対象に年2回行っている。今回は県内私立の中学校5校中3校（328人）と高校17校中13校（6845人）から回答を得た。経済的理由による高校の中退者は2人で、同じ高校の2年生と3年生だった。いずれも保護者の失業など特段の事情が発生したわけではないが、生活が苦しく、学費を工面でき

なくなり、退学せざるを得なくなったという。学費の滞納状況は、3カ月以上が中学で5人（滞納率1・52%）、高校では114人（同1・67%）となり、このうち6カ月以上は高校が30人（同0・44%）となった。高校の3カ月以上の学費滞納率が8年ぶりに2%を割り、同連合は「保護者の経済状況が改善し、同連合は「保護者

学費滞納1%台 8年ぶり 県内私立高

今年4～9月に県内私立高校の学費を3カ月以上滞納した生徒数は1校当たり8・8人で、前年同期を5

・5人下回ったことが県私立学校教職員組合連合（青森私教連）の調査で明らかになった。調査生徒数に占める滞納率は前年同期を0・83ポイント下回る1・67%で、2010年度以来8年ぶりに1%台となった。

21日、青森私教連の小山美樹子中央執行委員長らが県庁で会見を開き、発表

した。保護者の経済状態が

2018年11/22 陸奥新報

あるため、その効果が分析。その一方で、「か、まだ分からない。」「状況だと思っ」と述べたのではないかと「一時的な改善なの」依然として楽観できなかった。（吉田和華子）

2018年11/22 テーリー東北

経済的理由で 高校生2人中退

青森県私立学校教職員組合連合（小野寺仁中央執行委員長）は21日、2018年4～9月の半年間の、経済的理由による県内私立中学・高校の中退や学費滞納

18年度前半

調査は9月から10月にかけて行い、中学は5校中3校（328人）、高校は17校中13校（6845人）から回答を得た。

中退した高校生2人は同じ学校の2、3年生。生活

が苦しく、授業料などを工面できなかったことが理由に挙げられた。

学費滞納者は、高校が3カ月以上114人（滞納率1・67%）、うち6カ月以上は30人（0・44%）。学年が上がるにつれて6カ月以上の滞納者が増加する傾向が見られた。中学では3カ月以上の滞納者が5人（1・52%）で、6カ月以上はゼロだった。

県庁で会見した同連合の時苗克敏書記長（東奥学園高教諭）は「中退者をゼロにしたいと思っ取り組んでいる。今後も経済的負担がなるべく少なく学べるように運動を進めていきたい」と話した。

（稲村安莉）

上向いたことや、学校独自の奨学金制度創設などを改善要因に挙げながらも「抜本的な改善理由は見えておらず、依然楽観できない」と強調した。

滞納者114人のうち30人は6カ月以上、学費を滞納していた。経済的理由による中退者は、前年ゼロだったが今年2人出た。

高校からは「経済的に厳しい母子・父子家庭が多い」「保護者に一定の所得があっても、兄弟姉妹が多

ければ学費捻出は厳しくなる」「月10万円や月12万円の奨学金を申し込む生徒が何人もいる」など、保護者・生徒の苦しい事情を訴える声寄せられた。

中学校の滞納者数は1校当たり1・7人、滞納率1・52%で前年同期より0・7人、0・66ポイント悪化した。調査は9～10月、県内の私立中学・高校計22校を対象に実施。中学3校（対象生徒328人）、高校13校（同6845人）から回答

2018年11月22日 東奥日報

全国の集計結果は11月29日(木)発表予定です

各都道府県、未提出校への声かけに力を入れてください。まだ集計間に合います。より多くのデータが説得力を持ちます!!

各県でもマスコミ発表を!!

私学助成全国署名11/22到達 1,452,293筆